

淡水真珠養殖技術指導事業

水本三郎・小林吉三

1.指導の目的

前年度に引続き真珠養殖事業体について技術指導を実施した。前年度においては手術養殖に関する基本的事項に重点を置いて指導したが本年度においては主として養殖上の応用的な事項について行うため各事業体の養殖漁場を巡回し現場を中心としての実際面における諸問題について指導を実施した。

2.指導の内容

1. 各養殖場に即応したピース貝、および母貝の仕立て方
2. 仕立て貝による手術方法の検討
3. 手術技能者に対する講習及び実技実習
4. 養殖場管理の方法
 - イ. 豪雨後の増水期及び濁水期等における養殖管理法
 - ロ. 給肥に対する注意

3.指導の経過

巡回技術指導の経過は次表のとおりである。

巡回月日	対照団体	開催場所	受講人員
8月 1日	生産組合 2	米原町	7名
17日	会社1 個人営業1	近江八幡市	12
18日	会社1 個人営業1	守山町	17
29日	生産組合 1	彦根市	23
31日	会社 1	守山町	11
9月 1日	会社 1	中主町	4

巡回月日	対照団体	開催場所	受講人員
9月 2日	会社 2	草津市	25名
5日	会社1 生産組合1	草津市	19
6日	会社1 生産組合1	近江八幡市	14
7日	漁業組合 1	能登川町	6
8日	漁業組合3 個人営業2	大津市	3
12日	生産組合1 個人営業2	安曇川町	12
13日	生産組合 1	草津市	30
15日	会社2 漁業組合1	安土町	12
17日	会社 1	近江八幡市	17
19日	個人営業 1	近江八幡市	10
20日	個人営業 3	草津市	12
25日	個人営業 1	守山町	5
36年2月21.22日	生産組合 1	安曇川町	7
27日	生産組合 1	草津市	2
3月10日	会社 1	守山町	5

計 指導延日数 22日間

参加事業体 会社12・漁業協同組合5・生産組合9・個人営業11 計37

受講人員 253名

4.指導の所感

1. 各事業体とも手術技術については一応のレベルに到達したと考えられるが、未だ漁業協同組合を母体とした生産組合等についてはかなりの格差が認められるので、この方面の早急な技術指導講習が必要であると考えられる。
2. 養殖技術については各養殖漁場の特性にそくした母貝養成、養殖管理、水面管理等を考案すべきで巡回指導を更に数多く実施してこの点の指導を行いたいと考えている。